

正誤表

2022年4月23日

新世社

平野智久『仕訳でかんがえる会計学入門』（2019年9月25日発行・第1刷）におきまして、次のとおり要修正箇所がございました。読者の皆様にお詫び申し上げます。なお、第2刷（2022年3月10日発行）に際して、これらの加筆修正をおこなっております。

	誤	正
42頁, 図表 5-7	(b) A社は……, 現金 <u>475</u> 千円を受領しました。	(b) A社は……, 現金 <b>490</b> 千円を受領しました。
120頁, 設例 12-3	D社(決算日:3月末)は20X1年4月1日に図表10-2の普通社債(債券金額100万円, ……。この収入額と債券金額との差額は, <u>すべて金利の調整分と認められます。</u>	D社(決算日:3月末)は20X1年4月1日に図表10-2の普通社債(額面金額100万円, ……。この収入額と額面金額との差額は, <b>償却原価法(利息法, 実効利率1.5%)により処理します。</b>
152頁, 図表 14-16	(借) 諸資産 980 (貸) 諸負債 400 現金 520 <b>のれん 60</b> [収益の発生]	(借) 諸資産 980 (貸) 諸負債 400 現金 520 <b>負ののれん発生益 60</b> [収益の発生]
157頁, (4.1)③別解	(借)繰越商品 10 (貸)仕入 <u>300</u> 売上原価 <u>290</u>	(借)繰越商品 10 (貸)仕入 <b>80</b> 売上原価 <b>70</b>
176頁, (9.4)①	……, 同時に <u>約束手形 200,000</u> を受領しました。	……, 同時に, <b>20X3年3月末を支払期日とする約束手形 200,000</b> を受領しました。
176頁, (9.4)③	……, 同時に <u>約束手形 200,000</u> を受領しました。	……, 同時に, <b>20X3年9月末を支払期日とする約束手形 200,000</b> を受領しました。
184頁, (12.2)①	20X2年4月1日に4年債(債券金額300,000, ……支払うほか, その収入額と債券金額との差額は <u>すべて金利の調整分と認められます。</u> ……	20X2年4月1日に4年債( <b>額面金額 300,000</b> , ……支払うほか, 収入額と <b>額面金額との差額は償却原価法(利息法)により処理します。</b> ……
186頁, (12.2)⑥	20X3年4月1日に5年債(債券金額300,000, ……。この収入額と債券金額との差額は, <u>すべて金利の調整分と認められます。</u>	20X3年4月1日に5年債( <b>額面金額 300,000</b> , ……。この収入額と <b>額面金額との差額は, 償却原価法(利息法)により処理します。</b>
186頁, (12.2)⑦	②について, 20X4年3月末の <u>決算整理</u> をおこないません。	⑥について, 20X4年3月末に <b>必要な仕訳</b> をおこないません。 <b>クーポンは普通預金口座から支払います。</b>
186頁, (12.2)⑧	②について, 20X5年3月末の <u>決算整理</u> をおこないません。	⑥について, 20X5年3月末に <b>必要な仕訳</b> をおこないません。
186頁, (12.2)⑨	②について資金繰りの……	⑥について資金繰りの……

また, 図表 9-7 (89頁) は, 次のように差し替えます。

	一般的な仕訳	本書の理解
投資	(借)手形貸付金 500 (貸)普通預金 490 受取利息 10	(借)手形貸付金 <b>490</b> (貸)普通預金 490
割引	(借)普通預金 497 (貸)手形貸付金 500 手形売却損 3	(借)手形貸付金 0 (貸)受取利息 0 (借)普通預金 497 (貸)手形貸付金 490 手形売却益 7
保証	(借)保証債務費用 5 (貸)保証債務 5	(借)保証債務費用 5 (貸)保証債務 5
含意	手形貸付金を将来収入額 500 千円と測定したので, 入金額との差額は「手形売却損 3 千円」です。投資日に認識した「受取利息 10 千円」と両建てする意味は何でしょうか。	図表 9-6 での議論をふまえると, 即時に割引けば受取利息は発生しません。「保証債務費用」は「 <b>潜在的な費用の発生</b> 」であり, <b>既発生</b> の「手形売却損益」とは区別しています。

以上